

# 能力開発セミナーのご案内

ものづくりに係る技能・技術の

スキルアップをお考えの方に

## 《2月 開講コース》

コース番号	コース名	日程	受講料	コース概要
M0403	実践機械設計技術 (2次元設計:AutoCAD)	2/3 ~5	14,000	2次元CADシステム(AutoCAD)を効果的に活用するために、環境構築や作図手法、図面データの活用技術を習得します。
S1301	製造現場のマネジメントシステムを活用した品質管理技術	2/4, 5	9,000	マネジメントシステムに必要な事項を学び実際に構築して文書を作成(マニュアル化)することを目指して、マネジメントシステムの有効性を不適合と改善事例を用いて習得します。
H0106	現場のための電気技術	2/7, 8	7,000	一般的な電気知識(第二種電気工事士程度)を習得し、電気作業、電気設備の現場作業に必要な安全対策及び測定技術について実習をとおして習得します。
E3001	OpenCVによる画像処理・認識プログラム開発技術	2/12, 13	12,500	オープンソースの画像処理・認識ライブラリであるOpenCVを利用した画像処理・認識プログラムの作成技術について実習を通じて基礎から習得します。
S0502	製造業におけるリスクマネジメントシステム構築技術	2/12, 13	7,000	新製品開発や製品システムの改善におけるリスクマネジメントシステムの構築を目指して、リスク低減する実践的かつ具体的な方法について実践的なケーススタディを通じて習得します。
H1502	給排水衛生設備実践技術	2/14, 15	14,500	建築設備の概要、給排水衛生設備、空調設備の特徴についての訓練により、現場における生産性向上に役立つ知識、技能を習得します。
S0702	営業活動と連動した戦略的生産管理	2/17, 18	9,000	親企業からの受注情報(予告・内示・確定・納入指示)を活用し、必要最小限の在庫で、かつ納期遵守・品質確保・コスト低減を実現し、利益体質を維持向上できるように各業務を迅速かつ連携をもって進め、企業の実力を発揮できる生産管理システムを構築するための知識と技術を習得します。
M3302	機械保全技術	2/17 ~19	16,500	機器の組立・分解実習を通して、機械保全に関する業務ができるように、機械設備・機械要素のトラブルの原因追及や対策について習得します。
E0105	有接点シーケンス制御配線設計技術	2/18, 19	10,000	自動生産システムの基盤となる有接点シーケンス制御について、制御システムを構成する機器の構造やシーケンス図の見方、書き方、配線方法を学び、タイムチャートからシーケンス図を作成し配線方法等を習得します。また、誤配線、機器異常のチェック方法についても習得します。
W0401	半自動アーク溶接(各種姿勢編)	2/18 ~20	15,000	各種姿勢に対応した半自動アークの溶接施工技能者に必要とされる技能レベルの診断を行い、その結果に基づいて技能の高度化や溶接施工の改善のために実際に起こりうる品質上の問題点の把握及び解決手法を習得します。
H2302	木造住宅における壁量計算技術	2/21, 22	11,000	木造住宅の計画・設計において、構造的な検討を行う上で重要な壁量計算について、設計の手順と構造計画に関する構造技術を習得します。
S0802	製造業のコスト原単位の捉え方と活用	2/24, 25	10,000	製造業における生産効率の向上、低コスト効率化を目指して、コスト原単位について理解し、生産現場における問題点の具体的解決手順や実践的解決法を習得します。
E2503	C言語によるプログラム開発技術	2/24 ~26	13,000	C言語によるプログラム開発に必要な基礎知識から実用的なプログラムを開発するために必要となる関連知識と技術について実習を通じて習得します。
M1502	切削加工の理論と実際	2/24 ~26	14,000	切削加工における工具寿命や加工面粗さ、加工条件、加工能率、切りくず処理などの生産現場における問題点の解決に役立つ知識・技能・技術について、切削加工実験を通して学び、生産効率や品質向上を図るための切削加工の理論と実際との相違点を習得します。
M1902	NC旋盤実践技術	2/24 ~26	17,000	NCプログラム製作と加工条件、加工工程の進め方を学び、NC旋盤加工に必要なプログラムの知識とプログラミングの効率化や適正なノーズR補正の使い方など、NCプログラムの作成とツーリング及び補正法について習得します。
E0303	PLCによるシーケンス制御プログラミング(三菱FX ラダー編)	2/25, 26	10,000	PLCのシステム構成やラダー図の作成方法を理解し、効率よくシーケンス制御をするための技法を習得できます。また、実習をとおして、PLCと押しボタンスイッチ、ランプの配線方法や制御方法を習得します。
W0505	TIG溶接	2/25, 26	12,000	TIG溶接の基本をしっかりと習得することを主眼とし、各課題実習をとおして実際に起こり得る品質上の問題点の把握および解決方法を習得します。

お問い合わせ先

ポリテクセンター千葉

〒263-0004 千葉県千葉市稲毛区六方町274番地

TEL:043-422-4622 FAX:043-304-2132

URL: <http://www3.jeed.or.jp/chiba/poly/>

平成 年 月 日

# セミナー受講申込書

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構  
千葉職業能力開発促進センター所長 宛

送付先 (独)高齢・障害・求職者雇用支援機構  
千葉職業能力開発促進センター  
(ポリテクセンター千葉)  
FAX 043-304-2132

お問い合わせ TEL043-422-4622

次のセミナーについて、訓練内容と受講要件を確認のうえ、申し込みます。(受講要件はある場合のみです。)  
太枠内をご記入ください。(個人でお申し込みの方はご自身の郵便番号、ご住所、TEL等を下記にご記入ください。)

勤務先	事業所名 (個人の方は氏名)			業種	
	所在地 (個人の方は住所)	〒 (TEL - - ) (FAX - - )			
	申込担当者名	部署課名:	氏名:	E-mail:	
	企業規模 (該当に○印)	A.1~29、B.30~99、C.100~299、D.300~499、E.500~999、F.1000人以上			
	受講区分 (該当に○印)	1. 会社からの指示による受講(※1)		2. 個人での自己受講	

受講案内、受講料振込み用紙等は、上記申込担当者あて(個人の場合は申込者あて)送付いたします。なお、別途送付場所を指定される場合は通信欄にご記入ください。

コース番号	コース名	開講初日	ふりがな 受講者名	生年月日(西暦) 及び性別	センター記入欄
		平成 年 月 日		19 年 月 日 男・女	
		平成 年 月 日		19 年 月 日 男・女	
		平成 年 月 日		19 年 月 日 男・女	

通信欄(訓練に関連する経験、技能等(※2)受講案内送付先、連絡通信事項を記入してください。)

参考までにお伺いします。今回のコースをどのようにしてお知りになりましたか。

①ホームページ ②セミナーパンフレット ③FAXによる広報 ④ポスター ⑤他の団体からの紹介 ⑥その他( )

## [連絡事項]

- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第59条)を遵守し、保有個人情報を適切に保管し、個人の権利利益を保護いたします。当機構では、必要な個人情報について以下の利用目的の範囲内で利用させていただきます。  
ご記入いただいた個人情報は、能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に利用させていただきます。受講区分欄の1を選択された方は、申込担当者様あてに送付いたします。
- ※1 受講区分の「1. 会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。
- ※2 訓練を進める上での参考とさせていただくため、今回受講するコース内容に関連した職場経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方については、差し支えない範囲で区分して通信欄にご記入ください。(例:切削加工の作業に約5年間従事)  
(注)訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談下さい。
- 今後、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内を希望しますか。  
 希望する  希望しない